

関西理学療法学会 一日研修会 デイセミナー第2講

『座位姿勢・立ち上がり動作分析の工夫』

園部病院リハビリテーション部

大沼俊博

今回、脳血管障害片麻痺患者様、パーキンソン病患者様、脊髄損傷患者様の座位姿勢、立ち上がり動作分析について、その症状から着眼点のポイントを解説する。介助量が多い患者様であれば、配慮を行う機能障害は多くなり、自立度が高い患者様であれば一点狙いの治療が実現できる。

当日は症例様の姿勢・動作分析の解説後に、健常者の座位姿勢、立ち上がり動作分析の実技を行う。健常者においても座位姿勢、立ち上がり動作にはバリエーションがある。本講では前額面、矢状面、水平面の目線から、姿勢・動作分析を実践することの重要性をお伝えする。